

令和2年7月28日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A 伊 豆 の 国  
韮山営農センター

## 第4回 (7/28号)

# 水稻病虫害発生予察の結果について

### ① 生育状況

平坦地の生育は前年同時期と比べ遅れていますが、分けつ数は20~25本前後確保できており、中干しに入っている地区も確認できました。小坂、白山堂、神島地区は幼穂形成が確認され、前年より若干早い生育です。

山間地の田原野、浮橋地区ではいくつかの圃場で出穂が始まっているのを確認できました。概ね順調に生育がすすんでおります。

### ② 害虫状況

各地区、ウンカやヨコバイの発生が確認されています。現状は消毒の必要な発生量ではありませんが、先週と比べても成虫の数が増えているため、今後の発生に注意して薬剤散布による防除を検討して下さい。

山間地の田原野地区については、斑点米の原因となるカメムシ類の発生が見られました。薬剤散布による防除を検討してください。ウンカ類の発生は少なかったです。

### ③ その他

小坂地区の幼穂形成が、出穂の概ね20日前になります。穂肥の1回目の適期になりますので、NK化成2号10kg/10aもしくはIB化成4号20kg/10aの施用を検討ください。  
(ナイスワンパワー等の一発肥料を施用している方は必要ありません。)

神島地区は、来週が2回目のNK化成2号10kg/10aの施用適期となる見込みです。

### ④ 資材紹介

#### 「カメムシのおすすめ防除」

##### ○スタークル粒剤

薬量：3kg/10a

時期：出穂後7~10日後（穂が傾いた頃）

備考：カメムシ以外にもウンカ類やヨコバイ、  
ニカメイチュウ等の害虫にも効果あり

#### 「除草剤」

##### ○バサグラン粒剤 3~4kg/10a

定植後15~55日（収穫60日前まで） 本剤1回

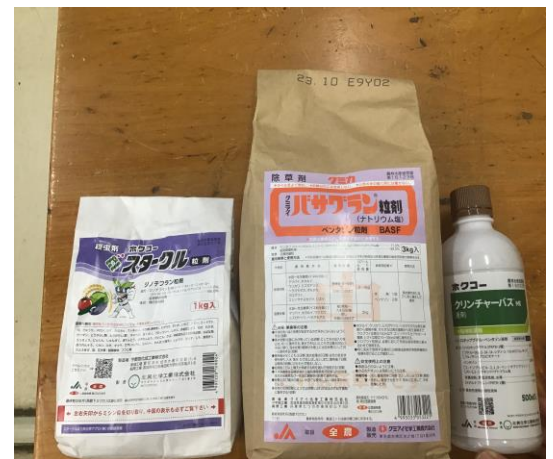
足跡に水が残る位まで、水を抜いてから散布。

散布後も3日は水を入れず、雨が降らない日を狙う。

##### ○クリンチャーバスME液剤 薬剤1,000mlを70~100Lに希釈/10a

定植後15日~ノビエ5葉期（収穫50日前まで） 本剤2回

5葉までのヒエと生育が進んだ広葉雑草に効果的。落水状態で散布。



問い合わせ：韮山営農センター 西島・田中 055-949-0055

※JA伊豆の国ホームページでも確認頂けます。